

やさしいまちづくりへの 取り組みは

近藤 武議員



できるところから対応していく
市長



▲配布予定の災害バンダナ（見本）とヘルプマーク

問 ヘルプマークの現状は。また、日常生活に不安のある方から意見・要望を聞く機会はあるのか。

答 配布実績は、令和2年度264個。障害者団体などから要望書や意見を聞く機会を持っている。

問 要望への対応は。

答 海部津島聴覚障害者協会からの要望には、来年度、ライオンズクラブの協力を得て、災害時に配慮が必要であること

を知らせる「災害バンドナ」を作成し、配布予定。また、自立と社会参加の実現を目指し、全国手話言語市区長会への入会に向けて、情報収集に努めている。

問 人にやさしいまちづくりへの取り組みや考え方は。

答 実情を踏まえ、意見交換などをしながら民間の力も活用し、できるところから対応していく。

消防団運営への 支援は



▲消防団 活動風景

問 消防団負担金の用途は。

答 団員の資格取得、詰所運営に充てることを想定している。

問 ふるさと納税や寄附金を活用し、更なる支援は可能か。

答 新規事業を事業化するには、必要性や有効性を十分に検証し、進める必要がある。